



かみじまファンクラブ&ライオンクラブ共催
Kamijima Fan Club & Lion Club co-presents



私たちは未来の上島町をだれに託すべき？
町長・町議会議員候補予定者のことを知ろう！

第2回 町民アンケート



町長・町議会議員候補予定者のことを知ろう！
どう取り扱ってほしいか
賛成で

集計結果のご報告

アンケートの結果、町民の意見や要望を参考に、今後の町政運営に活かしてまいります。ご報告いたします。

2020/10/10 (土) 午前10時-午後4時
於：弓削JAスーパー前テント下

Sat. Oct 10, 2020 10am-4pm
@Tent area of Yuge JA grocery store

連絡先 事務局担当 壬生優子(みぶゆうこ) ☎090-4902-1397 ✉hw@yugeshima.com

アンケート実施方法

1. 上島町長立候補予定者 2 名及び町議会議員立候補予定者 15 名に対し重要と考える政策分野についてアンケート回答を個別に依頼。町長立候補予定者 2 名、町議会議員立候補予定者 6 名より返答。
2. 2020 年 10 月 10 日 (土) 午前 10 時～午後 6 時まで、弓削 JA ストア前テント下にて、1 の回答を政策分野別に掲示、来場者は自由に閲覧。候補予定者個別に対するコメント、及び政策分野に対するコメントを、メモ用紙に自由記載いただき、これらも供覧した。

町民アンケート当日の様子

今回コメントは少なかったのですが、多くの方が足を止め、回答をじっくり読んでいかれました。来場者からは、「知り合いでもどんなことを考えているわからなかったのでよかった」、「毎回してほしい」、「政見放送をしてほしい」、など情報提供を歓迎し、さらに求める声多くいただきました。その他の声として、「議員がどんな活動をしているのか」、「定期報告してほしい」、などもありました。どんな形が合理的か、居合わせたみなさんと話す中で出てきたのは、「季刊の議会だよりより毎回全議員の活動報告を掲載してもらおう」という案でした。ぜひご一考いただきたく付記いたしました。

末尾になりましたが、このたびアンケートへご協力くださいました立候補予定の皆様、当日ご来場頂きました皆様、開催当日ご協力頂きました多くの皆様へ、この場を借りてお礼申し上げます。

次頁より、アンケート回答と町民の声の集計結果をご覧ください。

行政運営

上村 俊之 様 優先順位 **2**

現状について

行政は最大のサービス機関であり町民目線の対応が不可欠です。しかし現在の上島町役場は、主となる顧客が町民であることを忘れてるように感じます。農業・漁業、移住定住・観光への対策も不十分であり、雇用の場を確保する施策が見えません。

町民の声

「役場職員が上司の指示を鵜呑みにしている」とは具体的にどんな事例でしょうか？

具体的に取組もうと考えていること

地方自治体とは、町民のために（公共の福祉）存在する行政機関なので、単なる事務処理機能を果たすのではなく、どうすれば町民の幸福や豊かさに繋がるかを一番に考えるべきです。そのためにも役場職員が上司の指示を鵜呑みにするのではなく、法律や条例に基づき町民中心の行動ができるよう、共に学びたいと考えています。

徳永 貴久 様 優先順位 **2**

現状について

ハコモノ行政について悪いイメージを持っている方も多いが、私はそうは思わない。有利な資金手当をしながら町内インフラが整備されることは住民の福祉向上に繋がるからだ。ハコモノ建設が問題ではなく、ハコモノを上手く使えていない行政運営に問題があると感じている。

具体的に取組もうと考えていること

行政側には将来必要な修繕維持費含めた実効性のある収支計画を作成してもらい、議員として内容の精査を行っていく。将来の人口予想等勘案しながら、要不要の峻別をし、限られた財政の中で住民福祉向上に繋げていきたい。

寺下 満憲 様 優先順位 **1**

現状について

議員・住民の意見が通りにくい風通しの悪い町政。職員人事・町内事業に議員や事業者等が介入して不条理なことばかり、本来自治体は、公共サービス提供で住民の暮らしを守るべきが「フェスパ」「ごみ収集」問題など、ルールなき町政で、町民は、政治的期待や夢を失い役場職員の士気は下がっている。国の政治の縮図 上島町。

具体的に取組もうと考えていること

理事者が、どの様な政治方針で行政運営を進めても職員は、政策姿勢を正し、予算は、厳しくチェックして賛否については町民にとって有益か不利益かの判断が必要。議会ルールをしっかりと確立すること、本議会、全員協議会、議員協議会それぞれの役割をしつかり身につけ、紳士、淑女の民主的議会運営に努める。

行政運営 に対する町民の声

- 上弓削の保健センターに誰もいなくなったのはなぜでしょうか
- どこかの役場に設けられている“すぐやる課”上島町にもあれば嬉しい。たとえばスズメバチ退治など。

財政

上村 俊之 様 優先順位 1

現状について

上島町は財政町政基金をはじめ、家庭で言う複数の定期預金が大幅に減少しており、来月の食費（予算編成）さえ厳しい状況に陥っています。政治は結果であるので現実を評価するしかなく、この原因は一部議員に迎合した計画性のない無駄使い施策であり、行政能力の無い自治体（浪費家の親）と言わざるを得ません。

町民の声

具体的に取り組もうと考えていること

財政運営はその年だけではなく、中長期にわたる計画が必要。「入を量りて出ずるを制す」という言葉のように、思いつきやその場しのぎの提案に陥ることなく、身の丈にあった施策の実施が重要。計画的な支出はもちろん、財源の少ない上島町は、独自の地方創生案を国に示し交付金や補助金を獲得しなければなりません。

「独自の地方創生案」があるのならば是非聞きたい。

徳永 貴久 様 優先順位 1

現状について

町財政がひっ迫する中、人口に対し議員数が多いように感じる。ただ、やみくもに定数削減するのではなく、現役世代が議員に挑戦出来る報酬体系をとりながら、かつ議会運営に支障のない範囲での議員定数削減が好ましいと考える。この削減案は議員自らが提案することが重要だと思う。

具体的に取り組もうと考えていること

以前、議会で削減案が否決されたが、多くの議員が定数削減の必要性は認識していると思う。新たなメンバーとなった早い段階から議論を進め、住民と対話を深めながらより良い議会の体制を構築したい。

教育

宮脇 馨 様 優先順位 1

現状について

自分たちが住んでいる環境がどれだけ素晴らしいものかという認識が欠けている。古代から連綿と紡いできた歴史や瀬戸内海島しょ部の多様性に富んだ自然環境について理解を深めることで地域のアイデンティティを取り戻せるはずです。

具体的に取組もうと考えていること

豊かな歴史と自然という最高に恵まれた環境をフルに活用し、様々な実体験の積み重ねから自ら学び考え行動する人を育てる教育システムを創ります。幼時から小中高、さらには社会人へとつなぐ地域と密着した教育体系により地域の魅力を掘り起こし活力を取り戻します。人が元気になれば地域は変わります。

町民の声

具体的にどんな教育システム？例を教えてください。

大西 幸江 様 優先順位 1

現状について

学校教育については、少人数を生かした取り組みをする一方、時代に合ったITC教育などは遅れを感じる。また、生涯教育に関しては、公民館活動も衰退の一途をたどっており、どの文化活動も後継者がいない状況がある。住民全体への教育という点でうまくサポートできていない状況があると認識している。

具体的に取組もうと考えていること

教育委員会の傍聴、教育関係の行事への参加等を積極的に行って、情報の収集及び意見の聴取を行いたい。大人の意見だけでなく、子どもたちの意見も聞いて教育の底上げができるように働きかけたい。図書室の充実は、住民の教育レベルにかかわると考えているので、図書室の充実にも力を入れたい。

教育 に対する町民の声

- コミュニティスクールをどう活用するのか？
- コミュニティスクールの運用について具体的なビジョンが知りたいです。

農業・漁業振興

宮脇 馨 様 優先順位 2

現状について

次世代人材の確保が急務です。これらの地場産業においては技術の継承が無ければ事業継続が困難となっています。コスト削減の元で技術伝達制度が崩壊したため、早急な立て直しが必要です。造船の訓練校、県やJAの指導普及体制に代わる技術育成システムが必要です。

町民の声

「ハイレベル農業」とは？

具体的に取り組もうと考えていること

先ずインターン制度による当面必要な人材の確保に努める。次に専門的な業種に適した育成策としてマイスター制度を立ち上げ熟練技術者の育成と事業継承に繋げる。レモン栽培であれば露地とハウスの部門別にハイレベル農家を活用し技術継承の場をつくる。人材育成には時間と費用が掛かりますが長期の取り組みが不可欠です。

藤田 徹也 様 優先順位 1

現状について

鮮魚については漁獲量に関わらず魚価の右肩下がりに加え、人件費、燃料費、漁具の高騰により厳しい経営状態が続いている。ノリ養殖については温暖化の影響が30年前と比べ漁期が20日程短くなっている。ノリ製造は衛生面で気が抜けず、成長最盛期に生産が追い付かないために生じる品質低下、生産口スをなくす戦略が必要。

具体的に取り組もうと考えていること

鮮魚に関しては、生産者、組合が行政の協力を得て協議を重ね、六次産業化に向けた環境整備を促進したいと思います。ノリ養殖に関しては、国の促進事業に乗り、協業に向け舵を切り、町と共に環境整備を進め、愛媛県1の生産量を誇るノリ養殖の更なる発展を図りたいと思います。

労働

林 敬生 様 優先順位 1

現状について

特に若者の就労先が少なく、就労先を求めて町外への転出を余儀なくされている。

具体的に取り組もうと考えていること

企業誘致をはじめとする新たな雇用の創設に取り組みたい。

福祉

大西 幸江 様 優先順位 **2**

現状について

高齢者福祉に関しては、小さな町ながら頑張っていると思う。しかし、網の目からこぼれるケースも多々ある。青年福祉や子どもの福祉に関しては、潜在的には存在するが、数が少ないこともあり、町の中で支援が完結しない。県境なので、町外に支援を求めるにしても、難しいことがあると認識している。

具体的に取組もうと考えていること

社会福祉協議会等の活動に協力しながら、現状を把握し、小さな支援の輪が広がっていくような取組みをサポートしていきたい。また、当事者のお話を聞くことによって、町の政策の改善につなげるようにしたい。

観光

寺下 満憲 様 優先順位 **2**

現状について

いま観光といえば、サイクリストを対象に取り組んでいるがなかなか町内購買力につながっていないのが現状。また、新型コロナ禍でイベントの取組みも出来ず地域経済は、沈んでいる状況である。それぞれ旧町村時代から、古くからある物、見せるものの色々ある中で、観光につながる掘り起こし、整備の手をつけていない。

具体的に取組もうと考えていること

滞在型観光づくり、伝統文化、歴史的遺産をひきつぎ整備し、新しい名所づくり、海を活用した体験型観光、山を活用した真っ赤に萌える紅葉、積善山の桜の整備と保護、農地を活用した特産品づくり、体験観光園。各家庭の庭先を借りての花木の植栽で花の咲く町づくり。

観光 に対する町民の声

- 道路側の畑でも荒れ地が多い。確かに畑仕事はきつい。汚れる。それも育っていく花や野菜を見るのは楽しいですよ。若人よ、ガーデニングを楽しんでね。

交通

林 敬生 様 優先順位 2

現状について

岩城橋完成後の公共交通の有り様、特に、高齢者の今後想定される運転免許返納後の移動手段確保について対策が望まれると考える。

具体的に取り組もうと考えていること

福祉タクシー等の利用者のニーズに合わせた移動手段の確保を模索する。

交 通 に対する町民の声

- いきなフェリーの高理者無料はやめるべき。赤字なのだから、財政負担してまですべきでない。
- 140円ぐらいある。フェリーの無料化は不要。

そのほか

藤田 徹也 様 優先順位 2

現状について

議会運営：二元代表制の一方の担い手としての議会の責務（行政チェック、議決、政策提言）が今の議会には、程遠く思えます。この四年間を見れば一目瞭然です。議会改革（議員改革）こそ急務だと思います。

具体的に取組もうと考えていること

あらゆる機会において自由闊達な意見を交わし、町民に開けた議会にする為には、議員個々の質の向上に尽きると思います。議会の責務の重さを自覚して、行政政策に深く踏み込み、理解できるまでとことん勉強して是々非々で議会に臨みたいと思います。また議員同士の勉強会を積極的に進めていきたいと思います。

山上 耕司 様 優先順位 1

現状について

商工業：商工会に入会している会員の方たちの高齢化が進んでいます。後継者がいない業者も少なくありません。10年後には店舗数もだいぶ減る可能性があります。

具体的に取組もうと考えていること

地域活性化のために、Uターン、Iターン希望者を積極的に受け入れられる体制を整えたい。そして商工業の仕事に就いていただきたいと思います。基本的には「お買い物は上島町で！」の合言葉を発していきたい。町全体で商工業を盛り上げていきたいと思います。

そのほか に対する町民の声

- 議会だよりで、全議員の活動報告を掲載し、どのような活動をしているか町民がわかるようにしてほしい。
- 議員が何をしているのかわからない。ケーブルテレビで、議員候補者全員が話すべき。
- ケーブルテレビで一人ずつ政見放送をしてほしい
- 若い議員さんがふえると思うので、ぜひ議員改革を！

南海トラフを見据えた取り組み

宮脇 馨 様

防災対策として早急に取り組むべきこと
近年の数々の被災実例を仮想体験として取り入れ、行政依存型から意識変革を図ります。CCP（地域継続計画）を基本に各人ごとの避難計画を明確にし、想定外の連続となる災害に臨機応変の適応力アップのための訓練を日常化させます。どんな災害にあおうとも各人が柔軟に対応できることが一番の防災力向上です。

藤田 徹也 様

防災対策として早急に取り組むべきこと
南海トラフで気象庁が想定する上島町付近の震度は5~6です。上島町においては、土砂崩れによる道路の寸断、長時間の停電、断水、家の倒壊等が予測されますが、一番怖いのが家の倒壊ではないのでしょうか。今取り組むべきことは、倒壊危険家屋調査に基づいた耐震工事促進の支援策が必要ではないかと思います。

山上 耕司 様

防災対策として早急に取り組むべきこと
被害状況等を迅速に把握するためにもドローンを活用できないかと思います。物資の運搬にも役立ちます。ドローン操縦者の育成にも早急に取り組めたらいいと思います。

林 敬生 様

防災対策として早急に取り組むべきこと
大地震発生直後の避難所での電源確保を目的としたソーラー発電及び蓄電設備の確保が必要と思う。

上村 俊之 様

防災対策として早急に取り組むべきこと
上島町において津波の被害が大きいと予測されます。防災対策は、何よりも危機管理が重要で、計画を立て災害対策本部がその内容を熟知することはもちろんですが、町民の生命を守ることが一番です。そのためにもまず、町民が地震発生直後に自然無意識に行動に移せるまでの啓蒙が必要だと考えます。

徳永 貴久 様

防災対策として早急に取り組むべきこと
住民各自の防災意識向上（自助）がまず必要だと思う。どんなに良い防災計画を策定しても、住民に浸透していなければ意味がない。また、時間や曜日別等、実効性のある地域毎の自主防災組織の体制構築（共助）を進め、地域で対応出来ないところに町の支援（公助）を重点的にすべきだと思う。

寺下 満憲 様

防災対策として早急に取り組むべきこと
自助任せにせず、公助としてやるべきことをしっかりと取り組む。

大西 幸江 様

防災対策として早急に取り組むべきこと
自分の命を守るための一人一人の対策を進めること。災害が起きる前、起きた時の地域の取り組みを進めること。この2点が大切だと思いますが、それを行うための行政の先導が必要不可欠だと思っています。単なる備蓄だけでなく、組織づくりや講習会など積極的に取り組む必要性があります。

フェスパ

宮脇 馨 様 優先順位

現状について

H30年の7月豪雨やR2年のコロナ禍という大きな試練を潜り抜け徹底した減量経営に到達しつつある。当初からの施設の不備は多く残っているが改善には多額の資金も必要となるため早急にはできない。これまでの分析から入浴部門の不採算が明確となり新たな経営型の構築が求められている。

具体的に取り組もうと考えていること

新たな経営型で健全運営ができることを実証するために一年間のみの業務委託とし、そのデータに基づきPFIや指定管理などに移行する。これまでの制度設計の見直しは必須で、ターゲットを絞り切れていない当初のコンセプト変更も成否のカギを握っている。外貨を稼ぐ観光拠点施設として潜在能力を発揮させる。

上村 俊之 様 優先順位

現状について

現在のフェスパは宿泊施設としての体をなしていません。週4に日間の営業では顧客もつかず、年間6,000万円という上島町からの赤字補填も指定管理者の応募条件からも大きく逸脱しています。コロナ禍以前の借入金等も5,000万円以上残っており、誰が責任を持って支払うのかさえ明確ではありません。放漫経営です。

具体的に取り組もうと考えていること

今すぐ取り組むべきことは、現場職員の雇用を確保した上で、経営を運営能力のある民間会社に移行することです。このままでは（株）いきなスポレクさえ巻き込まれてしまいます。両施設共、上島町には大切な財産。その場しのぎの言い訳に終始するのではなく、上島町財政と同様「入を量りて出ざるを制す」経営に戻すべきです。

藤田 徹也 様 優先順位

現状について

（株）いきなスポレクによる運営は、税金を湯水のようにつぎ込む自転車操業状態であると考えています。運営企業としては、とても認められるものではありません。

具体的に取り組もうと考えていること

（株）いきなスポレクによる運営を直ちに切り離し、フェスパは一時休館、その間に、指定管理者を募り、正式な手続きを経て指定管理者を決定すべき。期限を決めた支援策と合わせて指定管理者を募るべき。将来的には上島町の観光の拠点、町民の憩いの場として十分に機能を発揮して欲しいと思います。

徳永 貴久 様 優先順位

現状について

上島町を二分した根深い問題で、立派な施設が上手く活用されていないと感じる。支援金支出等でたびたび議会でも争点化され、指定管理者を変更した事は結果として失敗ではないかと感じるが、その結果責任を経営者、運営者、議会何れも取っておらず、このままでは町民のみが負担を負うのではないかと危惧している。

具体的に取り組もうと考えていること

全ての住民に使ってもらえる環境を整えることが重要だと思う。そのためには①前運営者に対する謝罪②議会として議決した結果責任を取る。この二つをまず取り組むべきだと思う。将来像として、町内の他の宿泊及び飲食業者と共に観光の拠点となれる施設になってもらいたい。

寺下 満憲 様 優先順位

現状について

経営状況不明瞭で現状把握困難である。

指定業者選定に無理があった。反省すべきである。

具体的に取り組もうと考えていること

指定管理の原点に立ち返り従業者の雇用の場を確保して不安解消に取り組む。

大西 幸江 様 優先順位

現状について

必要な施設であると認識しています。ただ、建物の構造の問題や運営等の問題があり、現在はなかなか利用していただけない状況があります。また、災害や新型コロナウイルスもあり、経営が難しい状況をさらに悪化させています。投入した町からの支援金等、住民の方には理解いただけていない部分も多いと思っています。

具体的に取り組もうと考えていること

まずは、みんなでどうすればいいか話し合うことが必要だと思います。時代のニーズや住民ニーズがどこなのか探らねばなりません。町の財産である以上、住民の方が気軽に使ってもらえる施設かつ魅力的な宿泊施設になるような取り組みが必要です。そのためにもまずは、地域密着、地産地消が必要だと思います。その後、町外へ。

林 敬生 様 優先順位

現状について

豪雨災害・新型コロナウイルスによる収入減に対し、各企業が企業努力（国の助成は含む）により経営を継続しているのに対し、フェスパは多額の助成を受けている。町の助成に頼った経営方針を見直す必要があると考える。

具体的に取り組もうと考えていること

管理者交代前の水準に企業努力で戻し、その経営手段によって最終的に町の補助無しで経営していくのが理想である。

フェスパ に対する町民の声

- 前の経営者の時の従業員の半分以上はやめてしまっている。赤字のスポレクが赤字のフェスパを運営するのは無理。黒字だったのが町長が変わって赤字になった。
- 昼の送迎がなくなったので、因島から来ていた高齢者のランチ+風呂利用がなくなり、昼客が減っている。

以上